

金融教育プログラム

金融教育プログラムで東証アローズ・みずほ証券を見学

高校1・2年の生徒が、7月27日(月)に東証アローズとみずほ証券(大手町ディーリングルーム)を見学しました。

東証アローズは国内最大の証券取引所であり、ニューヨーク証券取引所やロンドン証券取引所などと共に世界経済の中核として日本の金融取引市場情報をリアルタイムで発信し、上場企業への情報開示をサポートしています。株式投資体験コーナーでは、株式の投資シミュレーションを体験することができ、真剣に考え取り組んでいました。

みずほ証券は、資本市場を通じて、機関投資家や個人投資家をはじめ、さまざまな企業に資産運用・資金調達などのサービスを提供しています。トレーディングフロアは、インターネットまたは電話で株式や債券の取引を行う場所です。その後、特別講話として「債券市場の最新動向」をテーマにアメリカやアジアと日本の市場の特色や相違についてお話をいただきました。

生徒たちは、株式投資や投資信託など、様々な金融商品の特徴を学ぶ大切さを実感していたようです。

